

単結晶系ハイブリッド型

「大型HITモジュールHIT290A」誕生。

工場などの折板屋根に、ベースレールなしで設置が可能。
高出力290Wモジュール^{※2}で屋根を有効活用。

モジュール出力
20年
保証^{※3}



HIT
Photovoltaic Module

モジュール
変換効率^{※1}

18.8%

公称
最大出力^{※2}

290w

●外形寸法 幅1463×奥行1053×高さ46(mm) ●フレーム色 シルバー

メーカー希望小売価格 **157,000円/枚**(税抜) [品番 VBHN290SJ27] **NEW** 受注生産品

工場などの折板屋根におすすめします。

日本に多い500mmピッチなどの折板屋根に割付が容易なモジュールサイズです。設置時のベースレールが不要になるため施工工程とコスト削減が図れます。

ベースレール不要だから...

施工が短縮でき、
作業がラクに。

イニシャルコストを
大幅に削減。

屋根への荷重負担も
グンと軽減。

※ピッチや屋根形状によってベースレールが必要な場合があります。

高出力290Wを実現しました。

太陽電池モジュール1枚当りの公称最大出力は290W。
少ない枚数で大容量システムの設計が可能です。

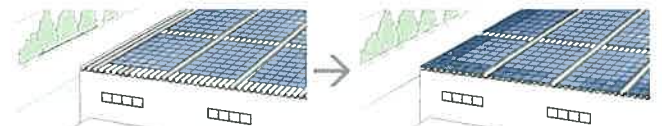
※1～3については裏面をご覧ください。

* HITはパナソニックグループの登録商標です。

高耐風圧荷重(4,200Pa)を実現しました。^{*}

より強い耐風圧性能が求められる屋根の端部までの設置や、市街地よりも風が強い地域(沿岸部など)への設置など設置範囲が拡大しました。

※太陽電池モジュールを6点固定した場合 ●風圧荷重は社内基準によります。



多結晶モジュールなど

大型HITモジュール

大型物件に対応可能なシステム電圧1,000V。

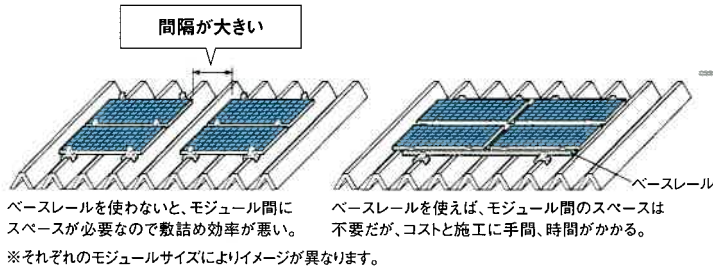
システム電圧1,000Vの直列接続枚数より多い設計ができるため、
同じ容量では並列数が少なくなり、省施工に寄与します。
(ただし、パワーコンディショナの入力電圧によります。)

ベースレールを使用せずに、500mmピッチなどの折板屋根に設置が可能*。 省施工、低イニシャルコスト、屋根への負担軽減を実現。

一般的な太陽電池モジュール

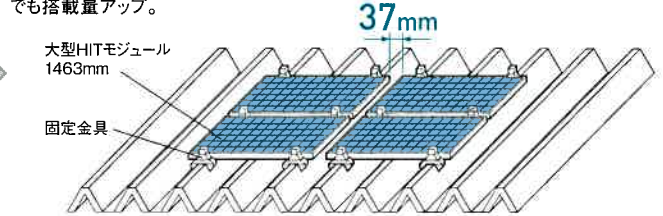
ピッチに取り付けると大きく隙間が生じる。

隙間を小さくするためには、ベースレールが必要。



大型HITモジュールHIT290A (88セル)

500mmピッチなどの折板屋根に合わせたサイズで、ベースレールが不要なため* 省施工、低イニシャルコストを実現。高耐風圧設計により屋根の端まで設置でき、限られた面積でも搭載量アップ。

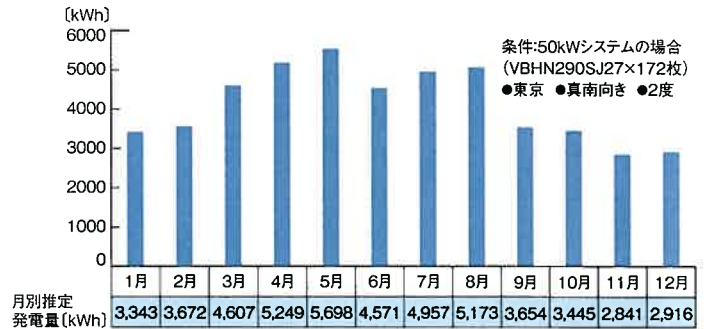


折板のピッチにあったモジュールサイズで、ベースレールなしでもモジュール敷詰め効率が高い。
*ピッチや屋根形状によってベースレールが必要な場合があります。

高耐風圧設計により建物高さ15mまで設置できるので、多くの工場に対応が可能。



■ 月別推定発電量シミュレーション

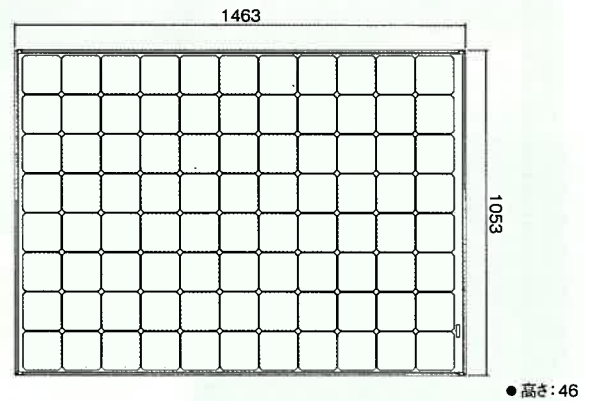


※月別推定発電量は、各システムの容量、地域別日照条件、システムの各損失を考慮して、当社発電量シミュレーションにより算出された値であり、保証値ではありません。各発電量シミュレーションの条件につきましては、下記をご参照ください。

■仕様

モジュール変換効率※1	18.8%
公称最大出力(Pmax)※2	290W
公称最大出力動作電圧(Vpm)	53.0V
公称最大出力動作電流(ipm)	5.48A
公称開放電圧(Voc)	63.8V
公称短絡電流(Isc)	5.84A
外形寸法	幅1463×奥行1053×高さ46(mm)
質量	18kg
風圧荷重	2500Pa(4点固定時)、4200Pa(6点固定時)※4
積雪荷重	2400Pa

■寸法図(単位:mm)



※1. 太陽電池モジュールの変換効率(%)は $\frac{\text{モジュール公称最大出力(W)} \times 100}{\text{モジュール面積(m}^2\text{)} \times 1,000\text{W/m}^2}$ の計算式を用いて算出しています。変換効率とは、太陽エネルギーから電気エネルギーに変換したときの割合を表します。

※2. 公称最大出力の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度1,000W/m²、モジュール温度25℃での値です。

※3. 出力がJIS C8918の7.1(性能)に示された公称最大出力に対して、10年で81%未満、または20年で72%未満になった場合に保証します。 ※4. 風圧荷重は社内基準によります。

[月別推定発電量シミュレーション] ●太陽光発電システムで発電し、施設内電源として利用できる電力量を表しています。(財)日本気象協会「発電量基礎調査」の日射量データを使用し、地域別年間推定発電量を算出。気象条件・設置条件などにより、実際の発電量と異なる場合がありますので、あくまでも目安としてご参照ください。 ●太陽電池容量は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値です。実使用時の出力は日射強度、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差及び温度条件により異なります。発電電力は最大でも太陽電池容量の70~80%程度になります。 ●太陽電池損失 / 温度補正係数:4~5月及び10~11月:8.7%、6~9月:11.6%、12~3月:5.8% / パワーコンディショナ損失:5.5% その他の損失(受光面の汚れ・配線・回路ロス):約5%

印刷物と実物では色柄が異なります。現物の商品サンプルなどでお確かめください。

このチラシに掲載の価格はメーカー希望小売価格です。消費税・工事費は含まれておりません。

お求めは当店で

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
マーケティング本部
エナジー商品営業企画部

〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号

©Panasonic Corporation 2014

●商品改良のため、仕様、外觀は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

●印刷物と実物では多少色柄が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

このチラシの記載内容は2014年2月現在のものです。